

水曜通信41

東北学院宗教センター編

2024年
10月

第76回 水曜公開礼拝

2024年10月16日(水) 18:30-19:00

<礼拝次第>

前 奏：M.レーガー作曲《最愛のイエスよ、われら
ここに集まりて》op.135a-14

讃美歌：34番「いのちのたびじは」

聖 書：申命記7章6-8節

讃美歌：85番「主のまことは」

説 教：「愛のゆえに」

頌 栄：543番「主イエスのめぐみよ」

後 奏：M.レーガー作曲《神はわが砦》op.79b-2



説教
文学部准教授
大学宗教主任
田島 卓



奏楽・第2部演奏
文学部教授
大学宗教主任
椎名 雄一郎

後奏の後、椎名 雄一郎氏（本学文学部教授）によるオルガン演奏による賛美を行います。

次回第77回水曜公開礼拝は11月20日です。

第75回 水曜公開礼拝報告（説教：藤野 雄大、奏楽：山司 恵莉子）

2024年9月18日（水） 18：30－19：00

讃美歌：7番「主のみいとみさかえとを」
聖書：マタイによる福音書 13章44－46節
讃美歌：501番「いのちのみことば」
説教：「埋もれた宝を活用する」
頌栄：540番「みめぐみあふるる」



【説教要旨】

マタイ13章44節以下では、天の国が「畑に隠された宝」や「高価な真珠」にたとえられている。このたとえでは、天の国は、貴重なものだが、その価値は、誰の目にも分かる形で示されているわけではない。その意味で二つのたとえは、隠された宝の真価に気づく目、つまり「賢さ」を持つことの大切さも示している。しかし、しばしば、私たちは宝の価値に気づかず埋もれさせたままになっていることがある。東北学院にとっての「宝」とは何か。それは建学の精神に基づいて東北の地と共に歩んできた138年の歴史であり、また育て上げてきた人材である。この「宝」を賢く活用することが、東北地方の再生にもつながる。

（大学宗教主任 藤野 雄大）

前奏：J. S. バッハ作曲《バビロン川のほとりで》BWV 653b

詩篇137篇のバビロン捕囚に基づいたコラールで、故郷エルサレムを遠く離れたバビロン川のほとりで捕囚となった自らの身を嘆き涙にくれるという悲しい内容ですが、この作品はト長調の穏やかな曲想で書かれています。右手で定旋律、左手で2声、足鍵盤で2声を演奏します。



後奏：J. S. バッハ作曲《あわれみたまえ、聖霊なる神よ》BWV 671

前奏曲とフーガに挟まれた『クラヴィーア練習曲集第3巻』の、最初の頂点を成す曲です。ペダルに定旋律が置かれており、手鍵盤ではキリエのモチーフが何度も繰り返されます。三位一体のうちの聖霊を表す、壮大な作品です。

（礼拝オルガニスト 山司 恵莉子）

礼拝とその後19時から19時30分までの山司恵莉子氏によるオルガンによる賛美に47名の方が参加されました。

礼拝後、音楽による賛美（オルガン演奏：山司 恵莉子）

1. ディートリヒ・ブクステフーデ作曲《前奏曲 ホ短調》BuxWV 142

北ドイツ・オルガン楽派を代表するブクステフーデは、オルガン曲だけでなくカンタータや弦楽合奏用ソナタなど多くの作品を残しました。《前奏曲 ホ短調》は、冒頭部の後に下降音型のフーガ、半音階のフーガ、間奏部を挟んでジグ風の跳躍音程のフーガが続きます。若きバッハにも多大な影響を与えたブクステフーデの即興的な音楽をお楽しみください。

2. ベルナル・フォクルール作曲《トッカータ》

フォクルールはベルギーのオルガニスト・作曲家です。この作品は北ドイツ様式のオルガンのために書かれました。ブクステフーデの影響が反映されており、性格の異なる10のセクションから成り立っています。コラール「来れ聖霊、主なる神」と「平安と歓喜もて我は逝く」、そして「第一施法のマニフィカト」の旋律が作品の中に散りばめられています。

（山司 恵莉子）



— 建築が語る東北学院の歴史 (32) —

3学科・学生定員160名／年の規模で設置を申請した(1961.9)工学部では、翌年4月の開設に向けて新棟(3号館)の建設に着手するとともに(1961.11)、土地と一緒に払い下げを受けた旧駐留軍の施設を改造して校舎に充てたことが知られています。今回、その姿を記録した写真がいくつか見つかりましたので、ご紹介します。

図1は駐留軍の通信室を改造した実習棟で、後に4号館が建てられた付近にありました。奥に見えるのは3号館着工前の風景と見られます。

図2は研究室と講義室を納めた建物で、駐留軍家族用のアメリカンスクールを改造したものです。場所は野球場の隣、テニスコートの辺りで、細長い建物の長辺を南北に向けて配置されていました。図3はその内部に整備された講義室の竣工直後(まだ椅子や机が設置されていません)の様子です。図4はその隣、最後に工学基礎教育センターが建っていた辺りに在った大講義室です。元は駐留軍の日用品販売所で、同じ建物の中に2室の物理実験室と図書室などが設けられました。

図5は総合事務室棟。現在の多賀城市役所前の駐車場や公園がある辺りで、多賀城駅側に正面を向けて建っていました。キャンパスの顔に当たる位置らしいデザインで、駐留軍の事務室を改造したものでした。(工学部 崎山 俊雄)



図1：実習室外観（旧電信室）
(国立公文書館所蔵写真を一部トリミング)

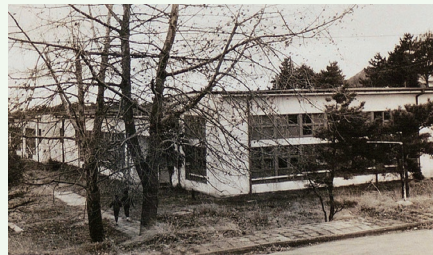


図2：研究室・講義室外観（旧アメリカンスクール）
(国立公文書館所蔵写真を一部トリミング)

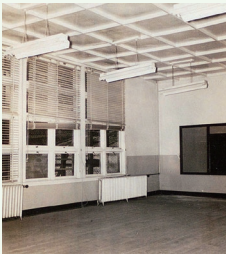


図3：講義室内観
(国立公文書館蔵)

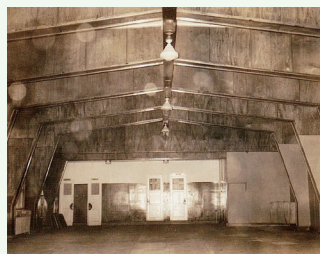


図4：大講義室内観（旧日用品販売所）
(国立公文書館蔵)



図5：総合事務室外観（旧駐留軍事務室）
(国立公文書館蔵)

東北学院大学宗教部主催 秋季特別伝道礼拝企画
スペシャルミュージックサービスのお知らせ

日時：10月9日（水）17：30～19：00

場所：五橋キャンパス 押川記念ホール

申込不要
どうぞご参加
ください。

青年が求める教会とは？

17:30-18:00

長沢先生×とわ×へいた



松田 永遠 (とわ)

経営学部2年。宮城県出身。
牧師家庭で育つ。幼い頃からキリスト教に触れ、現在も積極的にキリスト教活動に携わる。サッカーや歌うことが大好き。将来「イクエおじ」になる為にギターと英語を練習中。

「日曜日は、オアシスチャペルで皆さんを待っています」楽しく刺激的な賛美の時間を一緒に過ごしましょう！」



大学宗教部

宗教部は、毎日の大学礼拝の実施や、各先生方の聖書の学び会の紹介、スプリング・カレッジやサマー・カレッジといった学生の集まり、そしてクリスマス諸行事を企画し学生の皆さんの学生生活が豊かなものとなることを願っています。詳細は、東北学院大学ホームページ「キリスト教活動」をご覧ください。



ながさわ たかふみ
長沢 崇史

2007年関西聖書学院卒業。
様々なユースミニストリーを立ち上げ、ワシップリーダーとして多方面に活動。作曲した賛美歌は日本だけでなく世界中で歌われている。全国47都道府県を巡回し若者たちのネットワークを繋げる働きと共に、メッセンジャーとして様々な所で福音を伝えている。北海道出身。カナン・プレイズ・チャーチ主任牧師。リバーワシップスクール校長。カナン折りの家“CHOP”ディレクター。国内宣教師。
<http://taka-worship.com/>

Special

Thanks to...

特伝企画開催のために、
音響関係のご協力を

プレイズ ステーション /

PraiseStation

(クリスチャン・ユースミニストリー・ネットワーク)が担当して下さいます。
当日は、若い方々への伝道活動を支える為の献金箱を用意いたします。お志のある方はご協力をお願いいたします。
<https://www.praisestation.net/>

一緒にうたおう！

18:00-19:00

長沢先生×TGCF(大学)



梅村 平太 (へいた)

経営学部3年。横浜市出身。
本郷台キリスト教会在籍、八木山聖書バプテスト教会 出席。幼少期から教会に通っているが、明確な信仰をもったのは中学生の時。現在は、TGCF、KGK (キリスト者学生会)、PraiseStationなどの活動に携わっている。サッカーと賛美が好き。
「一緒に賛美しましょう！」



ティージャーエフ
TGCF

東北学院キリスト教フェロシップ / Tohoku Gakuin Christian Fellowshipは、東北学院の幼稚園から大学院さらには教職員や学院に繋がる方々が様々な違いを超えて主にある交わりを行えるように祈りつつ活動しています。特伝企画では、TGCFの学生ワシップチームが長沢牧師と賛美を致します！

東北学院大学の特別伝道礼拝は、春と秋に大学礼拝の一環として特別講師を招いて行っています。

今年度は秋季特別伝道礼拝企画として「スペシャルミュージックサービス」を行います。

プログラムは2部構成となっており第1部はワシップリーダーとして多方面で活躍中の長沢崇史牧師と学生2名が、「伝道」「讃美」「伝道」の2つのテーマについて対談します。第2部は賛美礼拝です。伝統的な讃美歌ではなく現代的な言葉や表現を使っているワシップソングをみんなで歌います。

いつもの礼拝とは一味違う特別な時間を過ごしてみたいいかがでしょうか。申込不要で一般公開となっております。どなたでもお気軽にご参加ください。



東北学院宗教センター編「水曜通信」第41号

2024年10月2日発行

発行責任者：宗教センター主任 原田 浩司

東北学院宗教センター TEL：022-354-8310

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1

Email：c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



宗教センターHP